

Anna先生のLife in JAPAN Vol.3



■ Anna・George
1987年生まれ。英国ノーフォーク出身。
2010年8月から只見町英語指導助手。
小学校と中学校で語学の指導を行います。

今月(12月)は猫魔スキー場でスノーボードを初体験してみました。とても難しくて、何度も転び、体のあちこちが痛かったです。友だちの中で私だけが初心者でしたが、みんなが助けてくれました。スキー場がとても寒かったのに、あんなに体が熱くなるなんて思っています。たぶん、たくさん動いたなあと思いました。スノーモービルにも乗ってみました。スノーボードはまだあんまりうまくないけれど、もっと上手に滑れるようになりたいです。ねこま温泉にも行きました。スノーボードでたくさん転んだあとの温泉は最高でした!温泉から見える景色も、雪が降っていたりして、

とてもきれいでした。

福島県のALTたちと東京デイズニerlandにも行ってきました。とてもすばらしく、たくさんさんのクリスマス飾り付けがしてありました。クリスマスパレードを見たり、スペースマウンテンに乗って楽しみました。そのうち、デイズニースーにも行ってみたいです。

さらに今月(12月)は餃子とキムチの作り方を教わりました。とってもおいしかったのですが、キムチが辛くてちよつとしか食べることができませんでした。普段あまり辛いものは食べないのですが、日本のカレーは大好きです。

クリスマスにはイングランドに戻ります。イングランドの友だちや家族に会えることを楽しみにしています。この時期イングランドもとても寒く、水道管も凍ってしまい、仕事にも行けなくなる人が多いです。ひどく雪が降ることがほとんど無いので、大雪にイングランドの人々は慣れていないのです。

1月は、まだ見たことがない相撲を、東京に見に行くので、楽しみにしています。

(訳・只見中・福地)

広報ただみ診療所

朝日診療所 所長 佐竹 秀一

「住民で守っていく地域医療」

あけましておめでとうございませう。

平成19年に来て以来、只見で迎える正月も4回目になりました。そろそろ県より異動の通達が来る年数になり、この広報に僕が記事を書けるのも、もしかすると最後かもしれない。

今回は、住民で医療を守っていくことの重要性について話をします。

昨年度より県の「地域医療再生計画」という事業にて、地域医療の建て直しが行われています。この会津地域にも25億円の予算が当てられ、再生事業を行っています。具体的な事業内容としては、①医師確保対策、②へき地支援(各病院間の電子カルテ化による情報共有など)、③へき地における救急・周産期医療の支援、などです。中でも興味深いのは、④「住民協働で地域医療を守る取組み」という項目があることです。住民の皆さんと座談会等を行い医療問題に関心を持ってもらい、みんなで地域医療を守っていく、という趣旨

だそうです。

只見町は以前、医師がいなくなってしまう経験を持つ町です。その際に住民の皆さんが団結して医療を守ろうとした経緯もあり、医療に関しては他町村よりも関心は高いと思います。

さて、最近の医療に対する皆さんの関心はいかがでしょうか?少し厳しい言い方をさせてもらおうと、やや平和ほけしていないかと心配です。

私が所長を任されて以来、診療所内の業務を見直し、保健・救急などの連携を強化してきました。今現在、只見町の医療は他町村より恵まれている状態になっています。当たり前のようにあるこの医療を継続していくには、実は住民の皆さんの力(意見・ニーズ・行動)が必要です。残念ながら今まで、住民の声を行政・診療所が充分に聞けておらず、また、そういった話し合いをする場がありませんでした。

今後、住民の皆さんが必要と思うことを行政・診療所を交えて話

し合える場を作ることが必要です。町の医療計画・診療所運営がきちんと出来ているのを見守る組織も必要です。

もちろん我々医療者側も皆さんの声を聞き、話し合いを行うことによつて、引き続き住民ニーズに即した医療を提供する義務があるのは言うまでもありません。

只見町は現在、地元根付いた医師がいらないため(なぜでしょう?)、毎年県や大学の医師派遣を受けています。数年単位で医師が交代するこの状態はしばらく続いていくと思います。今後もしも、医師が只見町で生活しますと、住民の皆さんの協力で彼等やその家族を育てていくことも重要です。また将来を見据え、行政による、町産の未来の医師・看護師を育てていく事業も重要と考えます。

今後、「医療資源は天から降ってくるものではなく、自分たちで作っていくものだ」と意識すること、行政・医療・住民が一体となって医療を守っていくのではないかと考えます。

将来、僕がどこかの病院で患者さんに対し「今、全国で評判の高い朝日診療所で働いていたんだよ」と、自慢できるような町・診療所になることを祈っています。